

#	ページ数	行	修正内容
1	1-3	上部	国別ワイン生産量順位 (2018年) →(2019年)
2	1-3	上部	チリ6位→7位 ドイツ8位→9位 南アフリカ9位→8位
3	2-8	中部	200kl →2,000kl
4	2-8	中部	341場 (2019年) →365場 (2020年)
5	2-8	下部	1.9億kl (2019年) → 1.8億kl (2020年)
6	2-20	上部	ジントニックの技法 シェーク→ビルド
7	3-1	中部	Evianの硬度、100-300mg/ℓ → 300-500mg/ℓ
8	3-1	下部	33.3ℓ ('20年) →35.4ℓ ('21年)
9	3-2	上部	0.4万トン → 約0.4トン
10	3-2	中部	「ソムリエ教本74p表2をそのままここに記載ください」 削除
11	3-2	下部	「ソムリエ教本75P右下表から特徴の項目を削除して表記載して下さい」 削除
12	4-1	上部	プロフィール (2020年) → (2021年)
13	4-1	上部	GDP2.6兆ドル →GDP2.9兆ドル
14	5-4	中部	Ch →白ブドウ
15	5-5	上部	瓶内二次発酵で上昇するアルコール度数、1.3~1.4% → 1.2%
16	5-6	下部	Manipulant → Manipulation (マニピュラン → マニピュレーション)
17	6-3	上部	ピノ・ブランはフランスで生産量1位の白品種ではない
18	13-3	上部	約12万hl → 約9.9万hl
19	15-9	中部	赤ワイン40% → 赤ワイン49%
20	15-20	中部	白ワインの生産割合が52%とやや多い → 赤ワインの生産割合が52%とやや多い。
21	16-1	下部	国内ブドウ収穫量 163400t→165100t (最新データに更新)
22	16-1	下部	プロフィール(2020年)→2021年 (最新データに更新)
23	16-1	下部	日本ワインの生産量 17,775kl →16,499kl (最新データに更新)
24	16-1	下部	日本ワインの生産量 750ml換算で2200万本 (最新データに更新)
25	16-1	下部	白ワイン:45.0%、赤ワイン:44.4%、スパークリングワイン:3.8% (最新データに更新)
26	16-1	下部	国内製造ワイン、91.136klの18.1%に当たる。(最新データに更新)
27	16-1	下部	山梨26.3% (最新データに更新)
28	16-1	下部	長野24.7% (最新データに更新)
29	16-1	下部	山形7.1% (最新データに更新)
30	16-1	下部	岩手3.6% (最新データに更新)
31	16-1	下部	新潟3.6% (最新データに更新)
32	16-2	上部	6行目の「2021年」ワイナリー数は、正しくは「2022年」
33	16-3	上部	日本でワイン用に使われているブドウの中で最も多く、全体の15.3%
34	16-3	上部	日本の甲州ワインの95.6%が山梨県産 (3,212t) (最新データに更新)
35	16-3	上部	山梨県全体のワイン原料用国産ブドウの生産数量の52.3%が甲州 (最新データに更新)
36	16-6	中部	13行目の酒税は「酒類」
37	16-6	中部	14行目の酒税は「酒類」
38	16-8	上部	北海道の主要品種 白用品種: 46.2% / 赤用品種: 30.9% (最新データに更新)
39	16-8	下部	岩手県 県内1位28.5% (最新データに更新)
40	17-1	下部	ドイツ赤白比率 白ブドウ68%、黒ブドウ32% (最新データに更新)
41	17-3	下部	リースリング 23.5% (最新データに更新)
42	17-3	下部	ミュラー トウルガウ 10.9% (最新データに更新)
43	17-4	上部	シュベートルグンダー 11.2% (最新データに更新)
44	17-4	上部	ドルンフェルダー 6.9% (最新データに更新)
45	17-9	上部	モーゼルにおけるシュベートルグンダー 4.8% (最新データに更新)
46	17-9	上部	モーゼルにおけるドルンフェルダー 3% (最新データに更新)
47	18-5	下部	ヴァインフィアテルの栽培面積の50%がグリュナーヴェルトリーナー 50% (最新データに更新)
48	18-6	下部	ミッテルブルゲンラント ブラウフレングッシュの栽培比率 51.8% (最新データに更新)
49	19-4	下部	栽培面積4,486ha (2020年) (最新データに更新)
50	21-2	上部	スペイン VP の数 24
51	21-3	下部	全ブドウ中2位、または白ワイン1位
52	21-18	上部	ピ・デ・パラッチェでは459の単一畑と区画畑が認定
53	21-29	下部	正しくは、D.O.ヘレス・ケレス・シェリー・イ・マンサニーリャ・サンルーカル・デ・パメラダ
54	21-30	中部	シェリー：辛口ワインの発酵温度、20~25℃
55	21-33	上部	シェリー：ペイル・ドライの残糖、4~45g/l
56	21-33	上部	シェリー：ミディアムのアルコール度数、15~22%
57	21-33	上部	シェリー：ミディアムの残糖、4~115g/l

58	22-3	上部	現在のワイン法になった年、2008年
59	23-2	中部	ミゲル・トーレスに関する年、1979年
60	24-1	上部	チュブト州→チュブ州
61	24-1	下部	24.5t (2021年) (最新データに更新)
62	24-1	下部	アルゼンチンのブドウ畑がある標高、450mから3329m
63	24-3	上部	4行目：ブレノスアイリスに運んだ
64	24-4	中部	カテゴリ-Bはアルコール分が15%以上
65	26-1	下部	収穫量37万 t (2021年)
66	26-3	上部	サステイナブル・グローイング・ニュージーランドの認証を受けている栽培地、96%
67	28-3	中部	約80 km
68	29-2	下部	26の町と村
69	29-3	上部	上から12行目フォルディターシュの説明を削除
70	30-1	下部	スパークリングワイン68%、スティルワイン32% (2021年) (最新データに更新)
71	30-1	下部	ワイナリー197軒、ブドウ栽培家897軒 (2022年) (最新データに更新)
72	30-2	中部	上から1,174ha、1,092ha、324ha、256ha (最新データに更新)
73	30-2	下部	サセックスワイン、2022年承認発表
74	30-3	中部	潜在アルコール度数は最低8%、酸度は白ワインが最低5g/l、赤ワインが最低4g/l
75	30-3	下部	ベースワインのアルコール度数は最低10%
76	30-3	下部	収穫量ではなく搾汁量が最大56hl/ha
77	31-2	中部	グラシェヴィナ栽培面積 4437ha (最新データに更新)
78	31-2	中部	マルヴァジア栽培面積 1589ha (最新データに更新)
79	31-2	中部	プラヴァッツ・マリ栽培面積 1399ha (最新データに更新)
80	32-1	中部	ブドウ栽培面積 1222ha (最新データに更新)
81	32-1	中部	2021年は99716hl (最新データに更新)
82	32-1	中部	2021年データは40.2t (最新データに更新)
83	32-1	中部	2021年には99716htまで回復した (最新データに更新)
84	32-2	下部	主要品種の表は2021年版である
85	32-2	下部	リヴァネール 21% (最新データに更新)
86	32-2	下部	7位のエルブリング (5%) が抜けている。
87	33-2	下部	モルドバのI.G.Pは4つあり、コドウルはその中の1つである。
88	35-3	下部	-Sremicが抜けている
89	36-3	上部	ブドウ栽培面積117ha (最新データに更新)
90	36-3	上部	コロニアのブドウ栽培面積 331ha (最新データに更新)
91	36-3	中部	カネロネスのブドウ栽培面積 3939ha (最新データに更新)
92	39-2	下部	P.G.Iが採用され→P.D.OとP.G.Iが採用され